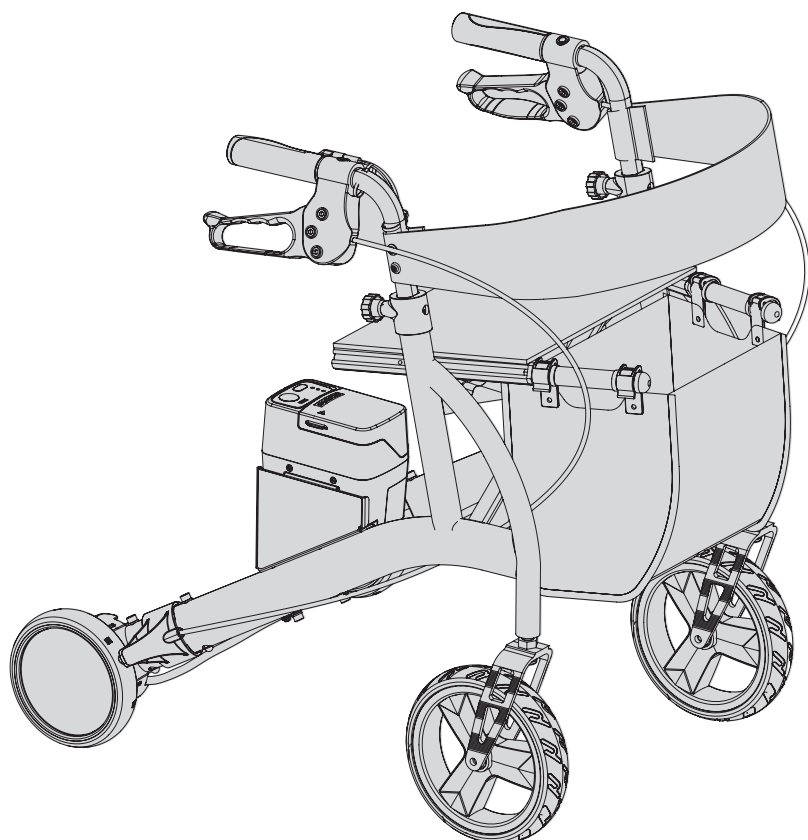


ロボットアシストウォーカー RT.2

Encore Smart
アンコールスマート



取扱説明書

もくじ

はじめに

ご使用前の注意	2
安全上のご注意	3
その他注意事項	5

本機について

本機の機能と特徴	6
操作パネルについて	7

ご使用前に

充電のしかた	8
本機の構造について	9

本機の使いかた

操作のしかた	10
設定モードについて	11

困ったときは

音声案内について	16
緊急時の対処法	17
異常確認時ポイント	17
定期的に点検する	18

参考資料

仕様	19
----------	----

ご使用いただく前に、本書に記載の内容をよくお読みいただき、安全上の注意事項を十分理解の上でご使用ください。
また、この「取扱説明書」はいつでもお読みいただける場所に保管し、使用上のご不明点は、かならず本書に記載の内容を読み返してください。

ご使用前の注意

本機を末永くご愛用いただくために

このたびは「ロボットアシストウォーカー RT.2」をご購入いただき、まことにありがとうございます。

❖ この「取扱説明書」について

本書では、ご使用の際にかならず守っていただきたい「安全上のご注意」、「正しい使用方法」、お客様ご自身で可能な「点検」に関する項目を中心に説明しています。

ご使用の前に、かならず本書をよくお読みになり、内容を習熟し、安全なご使用を心がけてください。

また、介助者がいらっしゃる場合は、その方にも本書をよくお読みいただき、ご使用上の注意などについて十分ご理解いただいでください。

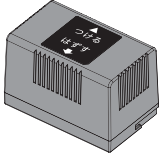
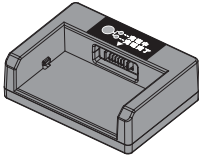
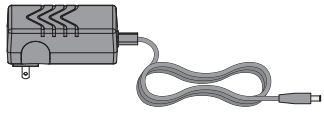
お読みになった後は、本書を携行いただくか、いつでも手に取れる場所に保管いただき、ご使用中に分からないことや不都合が生じたときは、本書の内容をすぐにご参照いただきますようお願いいたします。もし、ご不明な点がございましたら、裏表紙に記載のRT.ワークス サポートセンターまでご相談ください。

より詳細な点検・整備部品の交換については、弊社の「整備マニュアル」をご参照いただくことが可能です。詳しくは、RT.ワークス サポートセンターまでご相談ください。

❖ 付属品の確認

この製品には、以下の付属品が同梱されています。

・ 付属品に欠品があるときは、購入された販売店もしくは、RT.ワークス サポートセンターまでご連絡ください。

 バッテリーパック (リチウムイオンバッテリー) …………… 1 個	 専用充電器 (据え置き型) …………… 1 台	 AC アダプタ (専用充電器用) …………… 1 本
---	---	--

- ・ 取扱説明書(本書)
- ・ 保証書

ご注意

- ・ バッテリーパックを追加でご購入されたい場合は、裏表紙に記載のRT.ワークス サポートセンターまでお問い合わせください。
- ・ 製造元が推奨しているオプション品以外のものを本機に取り付けるなど、お客様の改造により道交法施行規則基準を超えた場合は、「歩行者」としてみなされません。
- ・ 本機を公共交通機関の車内や船内、機内に持ち込めるかどうかは、各公共交通機関の規定に準拠します。ご乗車やご乗船、ご搭乗される前にかならず係員までお尋ねください。

リチウムイオンバッテリーリサイクルご協力のお願い



リチウムイオンバッテリーはリサイクル可能な資源です。リチウムイオンバッテリーは誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険があります。バッテリーパックが不要になった際は、裏表紙に記載のRT.ワークスサポートセンターまでお問い合わせいただくか、リサイクル協力店などにお持ちください。

(リチウムイオンバッテリー輸入元：(株)カジテック)

ご使用いただく前にならずお読みください

この製品を正しく安全にお使いいただくために、次の事項に注意してください。

❖ 絵表示について

この「取扱説明書」では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性があるもの
 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結び付く可能性があるもの

本機は電源を入れたあと、安全のため機器に異常がないか自己診断を実行します。
バッテリー残量が点滅している間(約2秒間)は、手をグリップに触れないようにしてください。

❖ 本機ご使用時の注意事項

ご使用前に、以下の事項をよくお読みになり、かならずお守りください。

 警告	
本製品の用途を正しく理解する - 本製品は乗り物ではありません。荷物収納カゴや休憩用座面の上に乗りたり、こどもやペットなど生体の運搬には使用しないでください。 - 他の物の牽引はしないでください。 - 遊具として使用するなど、歩行以外の用途に使用しないでください。	大きな段差は乗り越えない 無理に通行すると、転倒する恐れがあります。低い段差でも、段差の前でかならず一旦停止してください。その後、両手でしっかりとハンドルを握り、段差用ステップを踏んで本機の前方を少し浮かしながら、十分注意してゆっくりと直角に乗り越えてください。
使用前に必ず各部を点検する 点検により、問題個所が見つかった場合は使用を控え、裏表紙に記載のRT・ワークス サポートセンターまでご相談ください。	大きな幅がある深い溝は乗り越えない 無理に通行すると、転倒したり動けなくなる場合があります。幅が深い溝の場合でも、タイヤを溝に取られないように注意し、両手でしっかりとハンドルを握りながら、ゆっくりと直角に乗り越えてください。
本機の電源が「切」のときやバッテリー残量がないとき、バッテリーパックが本機に挿入されていないときは、絶対に坂道を歩行しない バッテリーから電源が供給されていないと坂道において内蔵ブレーキが効かず、転倒や衝突などによる重大な事故につながる恐れがあります。	段差を乗り越えるときなどに前輪を浮かしたまま歩行しない 前輪を浮かしたまま歩行しますと、安全のため注意喚起の音声(アシスト機能を一時的に中断します。段差乗り越えなどで前輪を上げた際は、乗り越え後速やかに前輪を地面に下ろしてください。)(警告メッセージはそのまま歩か、電源ボタンを押す事で解除できます)
バッテリーパックを外して保管/運搬するときは導電物(金属片など)が端子に触れないよう注意する 金属片などが端子に触れると発煙、発火の恐れがあります。	アシスト力、ブレーキ力、速度制限が心身機能に合っているか、試運転等によりかならず確認してから使用する 意図しない本機の動作により、バランスを崩して転倒する恐れがあります。
バッテリーパックに強い衝撃を与えたり、破損した状態のまま使用しない バッテリーパックに強い衝撃を与えると破損することがあります。バッテリーパックが破損したまま使用すると発煙、発火の恐れがあります。	駅のホームや人混みの中で使用するとき、周囲に十分な空間が確保されているか確認する 通行人に衝突してケガを負わせたり、転倒または本機ごとホームに落下する恐れがあります。
本機を無理な速度で押し歩かない 本機は歩行補助器具です。走ったり、無理な速度(6km/hを超えて)で押したり、無理な操作はしないでください。	以下の場所や状況での歩行は回避するか、介助者に同行してもらう - 禁止： - 雪(積雪/凍結路面)、 - 水たまり、泥、エスカレーター、 - 急な坂道/急な斜面、 - すべりやすい路面、 - 暴風や豪雨などの悪天候、雷 - 注意： 溝、段差、踏切、横断歩道、 - 濡れた路面、坂道/斜面、 - 動く歩道、交通量が多い道路、 - 駅のホーム、 - 悪天候、公共交通機関、 - 夜間、砂場、開き戸、 - 砂利などの不整地、歩道の切り下げ
急な縦断勾配(傾斜7°以上)では使用しない 無理に通行すると、転倒する恐れがあります。また、傾斜7°以内の傾斜面でも、斜めに通行はせず、まっすぐ歩行してください。両手でしっかりとハンドルを握って操作してください。	本機から離れるときは、斜面の無い安全な場所に移動し、左右両方の駐車ブレーキをかけてから離れる 坂道の途中で停止し、左右両方の駐車ブレーキを掛けずに放置しますと、車体が動き出し、人にぶつかりけがをさせる恐れがあります。
急な横断勾配(3°以上)では使用しない 無理に通行すると、転倒する恐れがあります。また、傾斜3°以内の坂道でも坂の下側にハンドルが取られやすくなります。方向転換による急ハンドルは避けてください。	
立ち上がり、立ち座り時の手すり代わりに使用しない バランスをくずして転倒する恐れがあります。	

安全上のご注意(つづき)

警告

電源が「入」の状態、車体の展開、車体の折りたたみ、持ち上げ、ハンドルの高さ調節をしない

- ・ 本機が動き出し、バランスを崩して転倒の原因となります。

荷物収納カゴに5kg以上の重量物や大きな物を入れない

- ・ 重量制限は5kgまでです。転倒や操作の障害になる恐れがありますので、重量は超過しないように注意してください。

座面にものを載せる場合は、落下等しないよう十分注意する

- ・ 座面に載せたものが落下し、けがをする恐れがあります。また、落下を防ごうとバランスを崩して、転倒の原因となります。

本機を折りたたむときは、ゆっくりと折りたたむ

- ・ 勢いよく折りたたむと、バランスを崩して転倒の原因となります。

折りたたまれた状態から、車体を展開して使用する場合は、車体が完全に展開されていることを確認する

- ・ 完全に展開されていないと、歩行中に折りたたまれるなどして、けがの原因となります。

本機の使用前には、車体が完全に展開されていることを確認する

- ・ 完全に展開されていないまま使用すると、歩行中に本機が折りたたまれて転倒の原因となります。

本機を持ち運ぶときは、両手でしっかりと持ち、落下に注意する

- ・ 本機を持ち上げる際、手を滑らせて落下させないように注意してください。

手指の挟みこみに注意する

- ・ 車体の展開、車体の折りたたみ、車体を持ち運ぶ際は、手指を挟まれけがをする恐れがありますので注意してください。

バッテリー収納部の上に物を置かない

- ・ 置いた物が倒れるなどの恐れがあります。また、過度な重量が加わるとバッテリー収納部が破損する恐れがあります。

雨天時の使用では、バッテリー収納部のふたがきちんと閉まっているか確かめる

- ・ 端子部に水滴がついた状態でバッテリー部分に触れると、感電の原因となります。

長時間歩行し続けたあとや、直射日光の当たる場所に長時間放置するなどにより、本機の一部が温かくなることがある

- ・ やけどの恐れがありますので、注意してください。

充電器は屋内で使用する

- ・ 屋外など雨風にさらされると発煙・発火の恐れがあります。

濡れたプラグや濡れた手で充電しない

- ・ 水分を拭き取っていない手で専用充電器のACアダプタのプラグを触ると感電する恐れがありますので、濡れたプラグや濡れた手をよく乾燥させたうえで充電してください。

充電器、ACアダプタの上に物を置いたり布をかぶせたりしない

- ・ 温度が上がリ、発煙・発火の恐れがあります。

改造しない

- ・ 事故や本機の故障の原因となりますので、本機の改造は絶対に行わないでください。

ハンドル(グリップ)に寄りかかったり、荷物などを吊り下げない

- ・ 歩行中にバランスを崩すなど転倒の原因になります。

前輪や後輪に周囲のもの(硬いもの、柔らかいもの、手指、衣服、靴、布、ペットリッドなど)を巻き込まないように注意する

- ・ 本機の使用中は、タイヤに触れないようにしてください。
- ・ 巻き込まれる、バランスを崩して転倒の原因となります。

休憩用座面を利用するときは以下に注意する

- ・ 電源を切り、駐車ブレーキで後輪がロックされていることを確認してください。
- ・ 無理な姿勢で着座しないでください。
- ・ 勢いよく座らないでください。
- ・ 衣服などの引っ掛かりや足元に注意してください。
- ・ 手指の挟みこみに注意してください。

本機に向け、放水しない

- ・ 放水や洗車は故障の原因になります。

交通ルールと基本マナー

本機は、高齢者や身体に障がいのある方が利用するロボットアシストウォーカーです。道路交通法上、歩行者と同じ扱いになりますので、歩行者としての交通ルールを守り、他の歩行者に迷惑をかけない正しいマナーを身につけましょう。

注意

歩道を通行する

- ・ 歩道や歩行者専用道路を通行してください。歩道のない道路では、自動車に十分注意して、道路の右側を通行してください。
- ・ 他の歩行者や自転車にも注意して通行しましょう。

横断歩道を渡る

- ・ 歩行者の横断禁止場所は横断しないでください。かならず横断歩道や信号機のある交差点を通行してください。
- ・ 横断中は、横断する他の歩行者や自転車に注意して渡ってください。
- ・ スクランブル交差点などの斜め横断可の横断歩道を除き、道路の斜め横断はしないでください。

交差点では一旦停止する

- ・ 交差点の手前ではかならず一旦停止し、左右の安全をしっかりと確認して、ゆっくり進みましょう。また、自動車や自転車、バイクが近付いていないか、あるいは停止してくれたかを確認してから通行しましょう。

操作に慣れるまでは、公園など広く安全な場所で練習する

- ・ 操作は前進から始め、左右折S字、方向転換、回転、後退などの操縦をしっかりと練習し、操作に慣れてください。
- ・ 初めて歩道や歩行者専用道路に出るときは、かならず介助者と一緒に外出し、安全な道路と道順を確認しながら歩行してください。
- ・ 乱暴な操作はせず、他の歩行者や自転車、バイクで走っている人などの迷惑にならない歩行を心がけましょう。

信号を守る

- ・ 信号機のある所では、信号が「青」になってから渡りましょう。点滅中なら次の「青」まで待ってから渡りましょう。また、押しボタン式の歩行者用信号機のある所では、ボタンを押し、信号が「青」になったことを確認してから渡りましょう。
- ・ 信号機のない所では、横断歩道が見通しの良い所を探し、左右の安全をしっかりと確認してから渡りましょう。

踏切では一旦停止する

- ・ 踏切の手前ではかならず一旦停止し、左右の安全を確認してください。
- ・ 踏切の警報機が鳴っているときに踏切内に侵入しないでください。
- ・ 線路に対して直角に進出し、線路の溝にタイヤを取られないように十分注意してください。もし、踏切内で動かなくなったときは、近くに人がいる場合には協力してもらい、すみやかに本機を線路外に移動させてください。万一、踏切内から脱出できない最悪の事態に陥ったら、ただちに踏切のそばにある「非常ボタン」を押してから線路外に退避してください。

その他注意事項

使用上のご注意

かならずお守りください

- 本機は精密電子部品を使用しています。故障の原因になりますので、本機に強い衝撃を与えないでください。
- 操作パネルやその周囲を押さえたり、負担がかかる状態で持ち運んだりしないでください。操作パネルが破損する恐れがあります。
- 操作パネルの表面は傷つきやすいので、工具などの金属や鉛筆、ボールペンなどの固いもので強く押したり、叩いたり、引っかいたりしないでください。傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- 故障、破損の原因となりますので、ACアダプタを専用充電器に接続する際やバッテリーパックの挿入時は、斜めに差し込んだり、差し込んだ状態のまま引っ張ったりしないでください。
- 加齢などにより、屋内での移動が困難になったり、屋外でも短距離の移動が困難になった場合は、本機の使用は中止してください。また、本機の使用が適切かどうかを福祉用具専門相談員や作業療法士、理学療法士などの専門家に定期的にご相談ください。
- 本製品をエアコンの吹き出し口の近くには置かないでください。急激な温度の変化により結露するため、内部が腐食して故障の原因となります。

本機の仕様について

- 本機は使用中に温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 本機は屋外での使用を想定し設計されていますが、極端な高温や低温は避けてください。温度は0℃～ 40℃、湿度は20% ～ 80%の範囲内でご使用ください。

専用充電器とACアダプタについて

- 思わぬ発熱、発火、機器の誤作動を招く恐れがありますので、湿気やほこり、振動の多い場所や、一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近くでは、充電をしないでください。
- 充電中、ACアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- プラグ抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合は、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

有寿命部品について

本製品には、有寿命部品(リチウムイオンバッテリー)が含まれています。有寿命部品の寿命は、使用頻度や使用環境(温湿度など)等の条件により異なります。

本製品の廃棄について

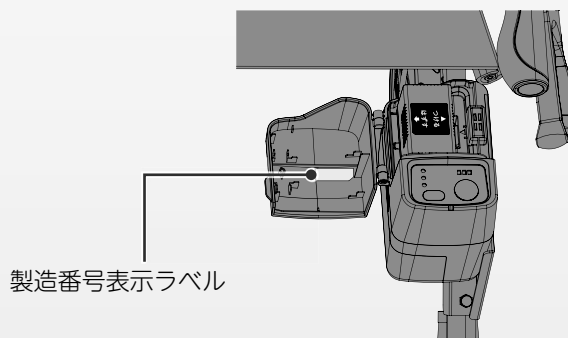
本製品を廃棄する際は、一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は裏表紙に記載のRT.ワークス サポートセンターへご相談いただくか、回収を行っている地方自治体の条例に従って処分してください。

ご注意

- ・ 本製品を廃棄する場合は、各自治体の廃棄ルールに従っていただきますようお願いいたします。自治体によって規則が異なりますので、お客様がお住まいの各自治体にご確認ください。

製造番号表示ラベルについて

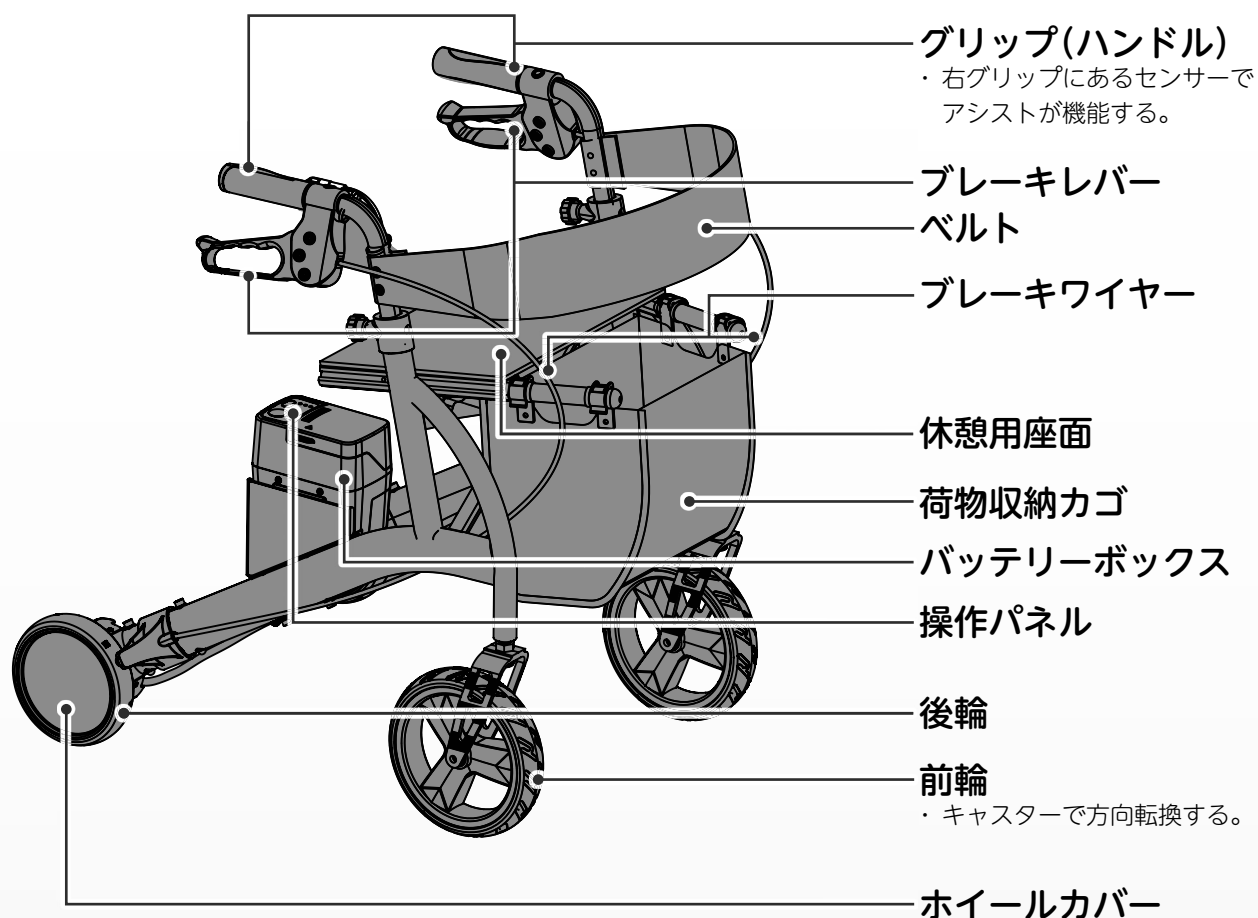
- この製品には、製造番号表示ラベルを本体に貼付しています。
製造番号表示ラベルは、バッテリーパック収納部ふたの裏側に貼付しています。



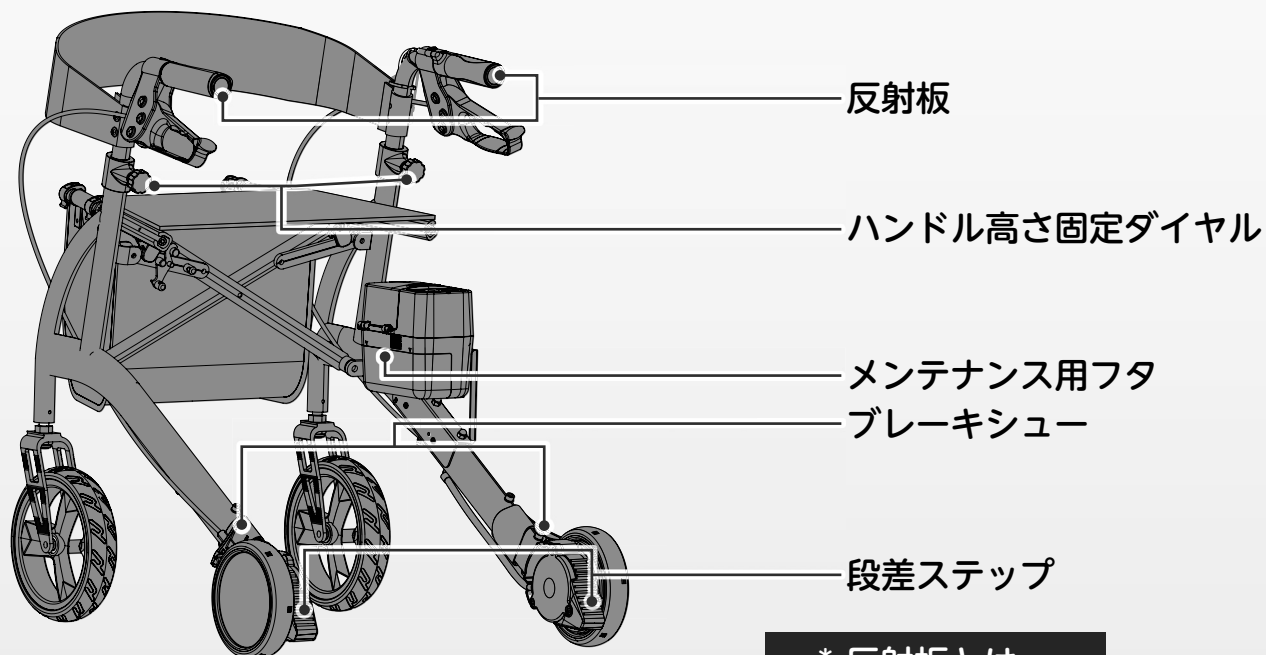
本機の機能と特徴

各部名称とはたらき

❖ 本体前面



❖ 本体後面



* 反射板とは…

夜間や悪天候時などで、自動車や自転車のライトに反射して、使用者の存在を相手に知らせるための器具です。

操作パネルについて

❖ 操作パネルでできること

操作パネルでは、本機をご使用いただく際に必要な操作や確認を行います。



表示部

アシスト	アシスト設定の変更中に点滅します。
ブレーキ	ブレーキ設定の変更中に点滅します。
速度	速度設定の変更中に点滅します。
バッテリー残量	現在のバッテリー残量を表示します。

操作ボタン

電源	本機の電源を「入／切」したいときに押します。 また、以下の操作を行うときにも押します。 ・ 本機が異常を検知したときにはたらく制動機能を解除したいとき。 ・ 流れている音声をキャンセルしたいとき。
設定	簡易設定したい場合に2秒以上押します。 ・ アシスト、ブレーキ、速度を4段階で設定できます。

ご注意

- ・ **【電源】**により、異常発生時の制動機能を解除するときは、本機が安全な状態であることが確認できるまでは**【電源】**は絶対に押さないでください。

スピーカー

さまざまな案内を音声で行います。また、本機に異常があるときに使用者にお知らせします。

お知らせ

- ・ 本機は各センサーのはたらきにより、ハンドルを押すのをやめると、自動でアシストが止まります。
さらに坂道では、ハンドル(グリップ)から両手を放すか右手を放すと自動でブレーキがかかります。

スリープ機能について

操作パネルの**【電源】**が「入」のときに、本機を5分以上操作しない状態が続くと、節電のため自動的に電源をオフにします。再度使用する場合は**【電源】**を押して電源をオンにしてください。

ご注意

- ・ スリープ中は、操作パネルのLEDランプはすべて消灯します。
- ・ スリープ状態での待機時間は、バッテリーパックが満充電の状態で約10日間です。
- ・ **【電源】**が「切」の場合、駐車ブレーキを解除しても、安全のために車輪の回転が重くなる設計がされています。

充電のしかた

バッテリーパックの充電について

❖ 充電のしかた

本機から取り外したバッテリーパックを専用充電器に設置するだけで、かんたんに充電が行えます。本機を初めてご使用される前や、ご使用中にバッテリー残量が少なくなったときは、かならず充電してください。

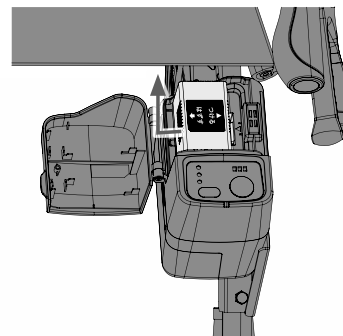
バッテリーパックを本機から外す

① バッテリー収納部のふたを開け、バッテリーパックを取り外す

◆ 取り外すときは、左側に水平にスライドさせてください。

ご注意

- 本機を屋外で保管する場合は、かならずバッテリー収納部のふたを閉めてください。雨水やほこりなどがバッテリー収納部に入ると本機の故障の原因となります。
- 充電には、本製品に付属の据え置き型専用充電器を使用してください。



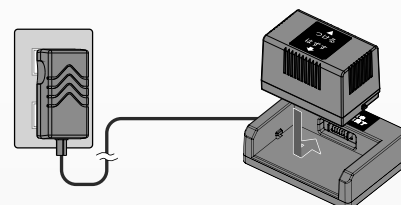
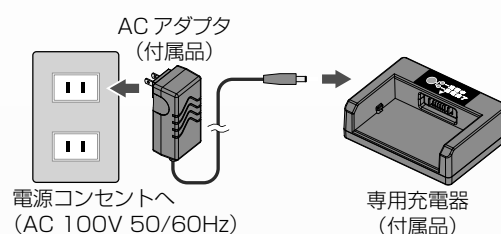
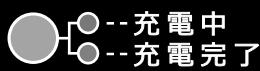
バッテリーパックを充電する

① 専用充電器にACアダプタを接続する

② ACアダプタを電源コンセントに挿入する

③ バッテリーパックを専用充電器に取り付ける

◆ 専用充電器のランプが赤で点灯し、バッテリーパックの充電が開始されます。



充電時間のめやす

操作パネルの「バッテリー残量」表示が  (1目盛) になると、バッテリーパックを充電する必要があります。満充電までにかかる充電時間はおよそ3時間です。

◆ 使用環境やバッテリーパックの状態によって充電時間は異なります。3時間充電しても「バッテリー残量」  p.7が「満」にならない場合は、バッテリーの寿命が考えられます。バッテリーの交換については、裏表紙に記載のRT.ワークス サポートセンターまでご相談ください。

ご注意

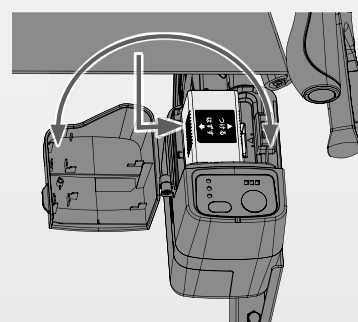
- バッテリー寿命は、使用期間で2年間、または充・放電回数で300回が目安となります。バッテリーの寿命は、使用状況、保存の状態、気温などによって、目安の時期より短くなります。
- 1回の充電で、歩行できる時間が著しく短くなったときは交換をおすすめします。(新品時の約60%以下)
- 冬期(約5℃以下)や寒い環境下では、一充電あたりの走行距離が短くなります。
- バッテリー寿命の目安と、製品の保証期間とは関係ありません。

バッテリーパックを本機に取り付ける

① バッテリー収納部のふたを開け、バッテリーパックを本機に取り付け、バッテリー収納部のふたを閉める

◆ バッテリーパックを取り付けるときは、右側に水平にスライドさせてください。

◆ バッテリー収納部のふたは必ず閉めて本機をご使用ください。

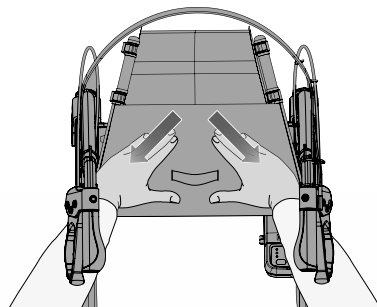


本機の構造について

❖ 車体を展開する

工場出荷時は本機は折りたたまれています。本機をご使用になるには、車体を展開してからご使用ください。このとき、指や衣服を挟まないようご注意ください。

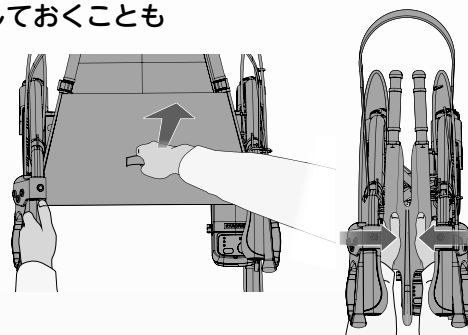
- ① ハンドルをしっかりと持ち、ゆっくりと左右に広げていく
- ② 座面両端部をゆっくりと押し下げる
◆ 手指を挟まないよう注意してください。
- ③ 座面両端部を持ち上げ、車体が完全に展開されていることを確認する



❖ 車体を折りたたむ

本機をご使用にならないときは、折りたたんで持ち運べる構造になっています。また車での移動時に、折りたたんでトランクや後部座席などに収納しておくこともできます。

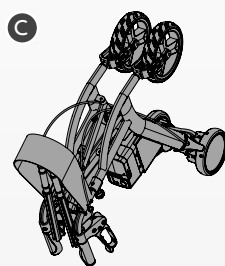
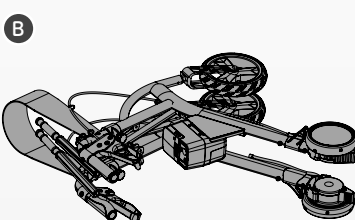
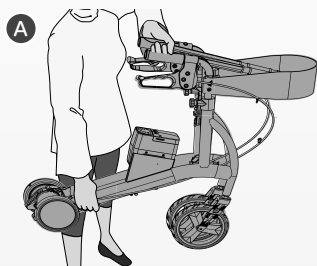
- ① 片手でハンドルを持ち、もう一方の手で折りたたみ用持ち手を上に引き上げる
- ② 座面両端部持ち、中央にゆっくりと寄せていく
◆ 荷物収納カゴも自動的に折りたたまれます。



ご使用の前に

ご注意

- ・ 手指を挟まないよう注意してください。
- ・ 本機を持ち運ぶときは下図 A のように持ってください。
- ・ 車のトランクや後部座席に入れる場合はバッテリーパックを外し、下図 B (バッテリーボックスが上になるよう横置き) または下図 C (車体後方側が下になるよう縦置き) の状態で、本機が動かないよう固定してください。



❖ ハンドルの高さを調節する

ハンドルが低過ぎたり高過ぎたりすると歩行に差し支える原因となりますので、本機を使用する前にかならず適した高さに調節してください。

- ① ハンドル高さ固定ダイヤルを反時計(左)回りに回して、ハンドル高さ固定を解除する
◆ ダイヤルにてハンドルを固定しています。緩める際には数周分回してしっかりと緩めてから、ハンドル高さの調節を行ってください。
- ② ハンドル高さ固定ダイヤルを手前に引っ張りながらハンドルの高さを上げ下げする
◆ ダイヤルはばねの力で戻ろうとします。ハンドルが所定の高さになるとダイヤルがはまりこみます。
- ③ ハンドル高さ固定ダイヤルを時計(右)回りに回して、ハンドル高さを固定する
◆しっかりと締めて固定してください。

ご注意

- ・ 本機の展開や折りたたみ、ハンドル高さの調節の際は、電源を切った状態で傾斜のない平らな場所で行ってください。
- ・ 本機をご使用されるかたが複数いる場合は、歩行前にかならず使用者に合わせたハンドルの高さ調節を行ってからご使用ください。

操作のしかた

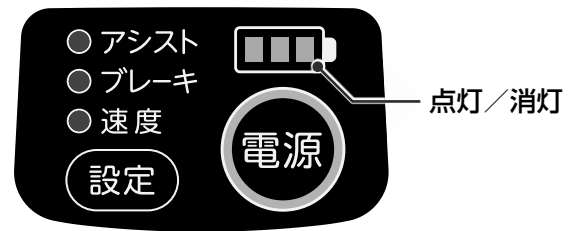
❖ 本機を起動する／終了する

① [電源]を押し、本機の電源を入れる

◆ 操作パネルのバッテリー残量が点灯します。

② [電源]をしばらく押し、本機の電源を切る

◆ 操作パネルのバッテリー残量が消灯します。



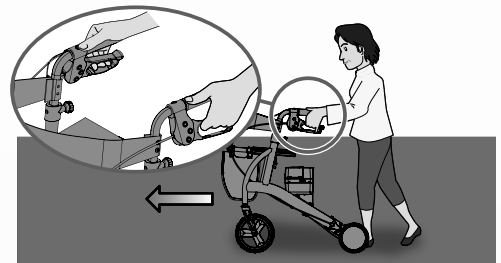
ご注意

- ・ 本機は電源を入れたあと、安全のため機器に異常がないか自己診断を実行します。バッテリー残量が点滅している間(約2秒間)は、手をグリップに触れないようにしてください。
- ・ 長期間使用しない場合は、バッテリーパックを取り外してください。

❖ 歩行する

① 両手でグリップをしっかりと握り、進行方向に向かってゆっくりと押しながら歩行する

- ◆ グリップを握ると、自動でアシストが働き、軽い力で進めます。グリップを放すと、自動でアシストが止まります。
- ◆ 上りの坂道で歩行すると、センサーの働きにより、平地よりも強い力でアシストが働き、平地のように軽い力で進めます。
- ◆ 下りの坂道で歩行すると、センサーの働きで自動でブレーキが働き、安全に進めます。



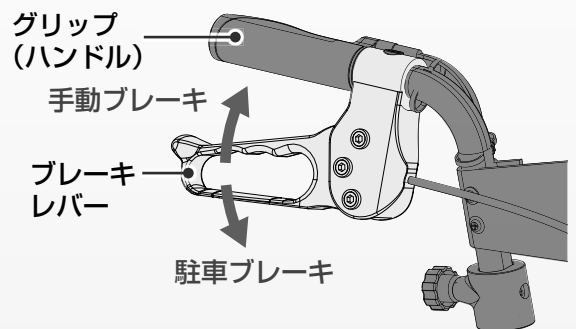
② 停止するときは、ハンドルを押すのをやめ、ゆっくりと立ち止まる

- ◆ グリップを放すと、自動でアシストが止まります。

❖ 手動でブレーキを操作する

① グリップを持ちながらブレーキレバーを握る

- ◆ 後輪にブレーキがかかります。レバーを離すとブレーキが解除されます。左右両方の後輪にブレーキをかける場合は、左右両方のブレーキレバーを操作してください。



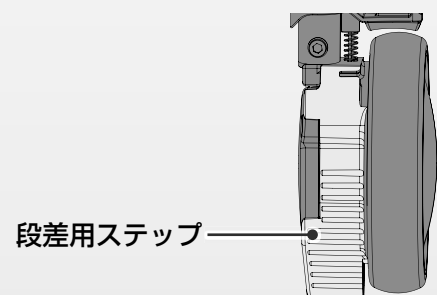
❖ 駐車ブレーキをかける

① ブレーキレバーを押し下げる

- ◆ 後輪が固定され、駐車ブレーキがかかります。解除するときは、グリップを持ちながらブレーキレバーを握ってください。

❖ 段差を乗り越える

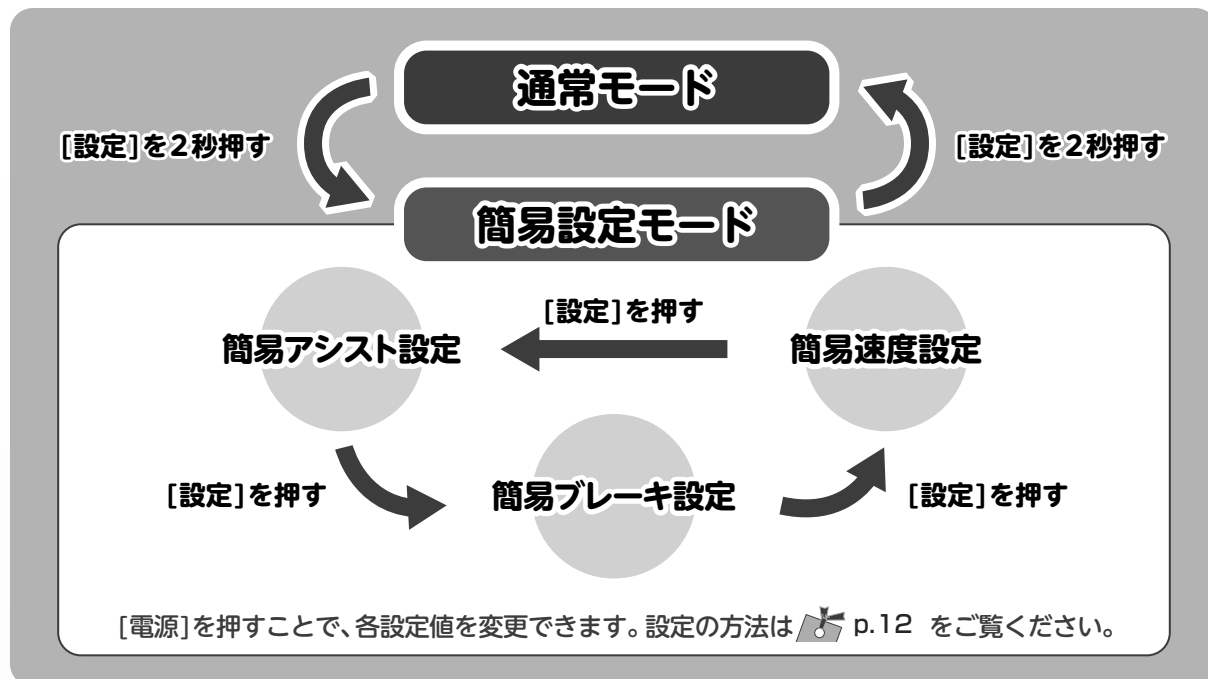
本機で歩行しているときに、路面に段差があるところで前輪が引っかかり、うまく前に進めない場合は、段差用ステップに足底を当て、車体前方を少し浮かして通過します。



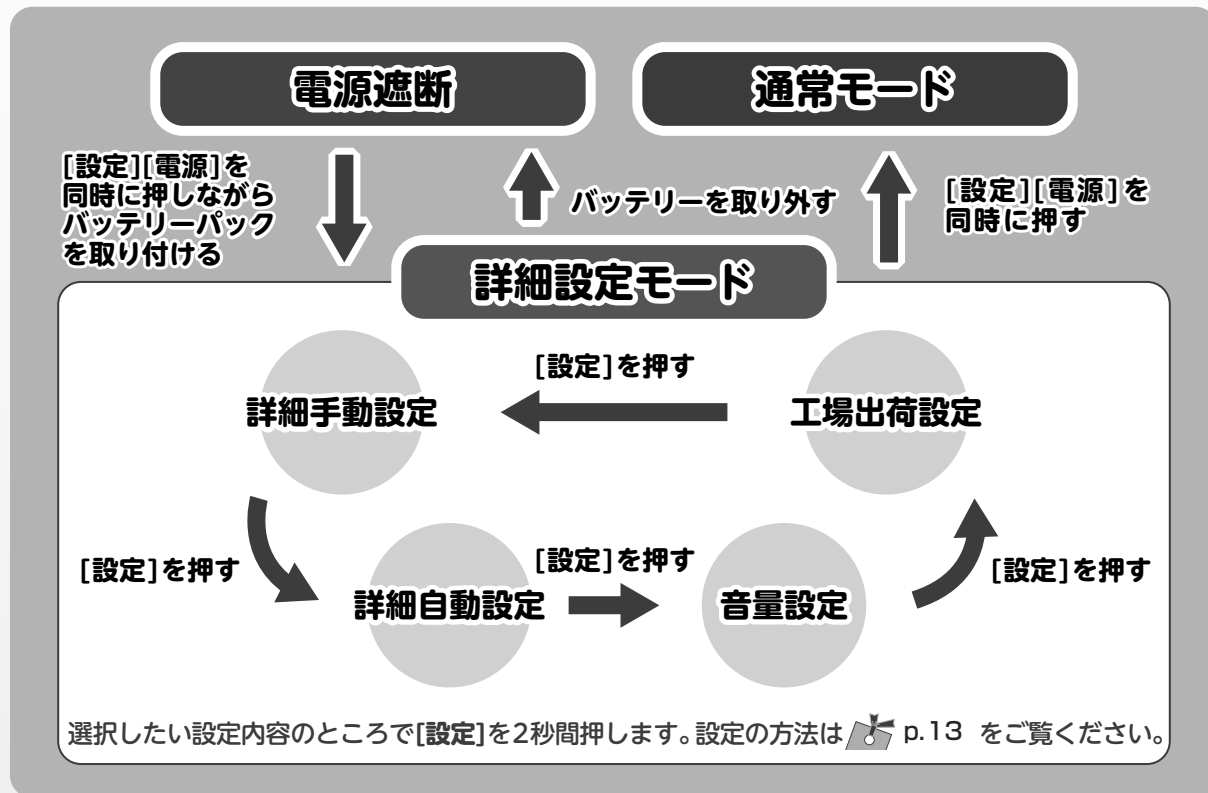
設定モードについて

本機では、簡易設定と詳細設定を用意しています。用途に合わせてお使いください。

❖ 簡易設定モード



❖ 詳細設定モード



設定モードについて(つづき)

簡易設定

簡易設定では、アシスト設定、ブレーキ設定、速度設定をお使いになる方の身体機能や使用環境に合わせて、それぞれ4段階で変更できます。

❖ 準備

バッテリーパックを取り付けておく

電源を入れておく

- ・ 操作パネルの[電源]を押してください。

① 操作パネルの[設定]を2秒以上押し続け、放す

- ◆ 「簡易設定」モードになります。

② 「簡易設定」モード中に[設定]を短く押す

- ◆ 短く押すたびに簡易設定モードが「簡易アシスト設定」→「簡易ブレーキ設定」→「簡易速度設定」→「簡易アシスト設定」→…の順に切り換わります。

お知らせ

- ・ 「簡易設定」モード中はバッテリー残量を示すLEDが各設定の設定値を表しています。

簡易アシスト設定

操作パネルのアシストとバッテリー残量が点滅します。簡易アシスト設定では、アシストの強さを4段階で設定できます。



簡易ブレーキ設定

操作パネルのブレーキとバッテリー残量が点滅します。簡易ブレーキ設定では、下り坂でのブレーキの強さを4段階で設定できます。



簡易速度設定

操作パネルの速度とバッテリー残量が点滅します。簡易速度設定では、制限速度を4段階で設定できます。



③ それぞれの「簡易設定」モード中に操作パネルの[電源]を短く押す

- ◆ 押すたびにアシスト力、ブレーキ力は1段階強く、制限速度は1段階速くなります。
- ◆ 4段階のときに[電源]を短く押すと1段階に戻ります。



④ 「簡易設定」モード中に[設定]を2秒以上押し続け、放す

- ◆ ②③にて変更した設定を保存し、「通常」モードに戻ります。

詳細設定

アシスト設定、ブレーキ設定、速度設定を自動または手動にて8段階で変更したり、音量を設定したり、工場出荷時の設定に戻したりできます。

❖ 準備

バッテリーパックを取り外しておく

① 操作パネルの[設定]、[電源]を同時に押しながら、バッテリーパックを取り付ける

◆「詳細設定」モードになります。

② 「詳細設定」モード中に、[設定]を短く押す

◆ 短く押すたびに詳細設定モードが「詳細手動設定」→「詳細自動設定」→「音量設定」→「工場出荷設定」→「詳細手動設定」→…の順に切り換わります。

詳細手動設定

操作パネルのアシスト、ブレーキ、速度とバッテリー1が点灯します。



詳細自動設定

操作パネルのアシスト、ブレーキ、速度とバッテリー2が点灯します。



音量設定

操作パネルのアシスト、ブレーキ、速度とバッテリー3が点灯します。



工場出荷設定

操作パネルのアシスト、ブレーキ、速度が点灯します。



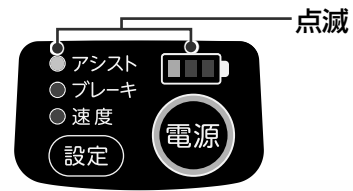
設定モードについて(つづき)

③ 設定モード中に[設定]を2秒以上押し続け、放す

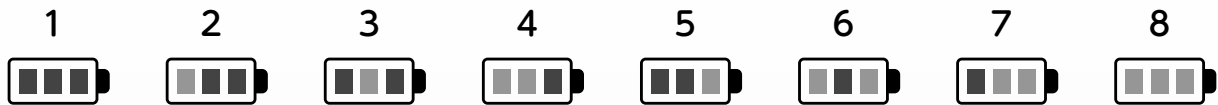
◆ それぞれの設定変更モードになります。

詳細手動変更モード

操作パネルのアシストとバッテリー残量が点滅します。



- ・ **[設定]** を短く押すと「詳細手動変更-アシスト」→「詳細手動変更-ブレーキ」→「詳細手動変更-速度」→「詳細手動変更-アシスト」→…の順に切り換わります。そのたびに点滅しているLEDもアシスト→ブレーキ→速度→アシスト→…の順に切り換わります。
- ・ **[電源]** を短く押すと、押すたびに設定が1段階強く/速くなります。第8段階のときに**[電源]** を短く押すと第1段階に戻ります。(1が一番力が弱く速度が遅く、8が一番力が強く速度が速い設定です。)



- ・ **[設定]** を2秒以上押し続け、放すと、変更した値を保存し、「詳細手動設定」に戻ります。
- ◆ 設定を保存したくない場合は、**[設定]** を長押しせずに**[設定]**、**[電源]** を同時に押して通常モードに戻ってください。

詳細自動変更モード

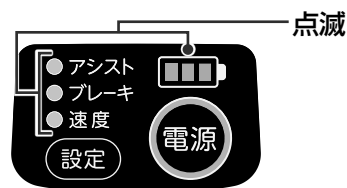
操作パネルのアシスト、ブレーキ、速度が点滅し、バッテリー残量が左から順に点灯します。



- ・ 音声案内が流れますので、その案内に従い10メートル歩行してください。
「アシストの自動調節を行います。普段の速度で10メートル押して歩いてください。」
- ・ 10メートル歩行すると次の音声案内が流れます。
「自動調整が終了しました。設定ボタンを2秒間押し続けてください。」
- ・ **[設定]** を短く押すと、歩行結果を基に自動調節した値を確認できます。アシスト→ブレーキ→速度→アシスト→…の順に切り換わります。
- ・ **[設定]** を2秒以上押し続け、放すと、自動調節した値を保存し、「詳細自動設定」に戻ります。
- ◆ 設定を保存したくない場合は、**[設定]** を長押しせずに**[設定]**、**[電源]** を同時に押して通常モードに戻ってください。

音量変更モード

操作パネルのアシスト、ブレーキ、速度とバッテリー残量が点滅します。



- ・ **[電源]** を短く押すたびに音量が1段階大きくなります。第8段階のときに **[電源]** を短く押すと、第1段階に戻ります。(1が消音、8が最大音量です)
- ・ 音量を切り換えるたびに、その音量で音が鳴ります。



- ・ **[設定]** を2秒以上押し続け、放すと、変更した値を保存し、「音量設定」に戻ります。
 - ◆ 設定を保存したくない場合は、**[設定]** を長押しせずに **[設定]**、**[電源]** を同時に押して通常モードに戻ってください。

工場出荷復帰モード

操作パネルのアシスト、ブレーキ、速度が点滅し、バッテリー残量もすべて点滅します。



- ・ 工場出荷復帰モードになると、次の音声案内が流れます。
「すべての設定データを出荷時設定に戻す準備ができました。
出荷時設定に戻す場合は設定ボタンを2秒間押し続けてください。」
- ・ **[設定]** を2秒以上押し続け、放すと、設定を初期化します。
次の音声案内が流れます。
「設定情報を出荷時設定に戻しました。バッテリーを外して、入れ直してください。」
バッテリーを一旦取り外して、再度入れ直してください。
 - ◆ 設定を初期化した場合、その後すべてのキー操作が無効となります。バッテリーを取り外してください。
 - ◆ 初期化したくない場合は、**[設定]** を長押しせずに **[設定]**、**[電源]** を同時に押して通常モードに戻ってください。

④ 「詳細設定」モード中に **[設定]**、**[電源]** を同時に押す

- ・ 「通常」モードに戻ります。
- ・ 工場出荷復帰モード中に **[設定]** を長押し、設定が初期化された場合は、**[設定]**、**[電源]** を同時押ししても通常モードに復帰しません。バッテリーを取り外してください。

音声案内について

音声案内

❖ 通常の音声案内について

本機の電源を切るときなど、通常時には以下の音声案内が流れます。

種別	説明	音声
休憩提案	長時間歩行している場合に案内します。	長時間歩き続けています。休憩されてはいかがですか。
スリープイン	5分間無操作で自動電源オフする際に案内します。	一定時間操作がされていないため、電源をオフにします。
終了時案内	電源をオフにする時に歩行距離実績値を案内します。	今回の歩行距離は○メートルでした。お疲れ様でした。

❖ 警告音と異常をお知らせする音声案内について

本機が検知した異常の状態によって、スピーカーから出る警告音と音声による案内の内容は異なります。表にしたがって対応してください。それでも異常がみられるときは、使用を中止し、RT.ワークス サポートセンターにご相談ください。

❖ 異常が発生したときの音声案内と対応について

本機に異常が発生した場合は、内容によって対処法が異なります。

異常内容	表示部	音声	対応
歩行中に急斜面にさしかかったとき	通常の表示	ピポッ、急斜面です。注意してください。	本機は路面の傾斜角が7度以下(横勾配は3度以下)の平地でご使用ください。
バッテリー残量が少なくなったとき	通常の表示	ピポッ、バッテリーが少なくなっています。お早めに充電してください。	バッテリーパックを充電してください。
転倒を感知したとき	 点滅	ピポッ、転倒しています。	車体を起こした上で、『電源』を押して通常動作に復帰させてください。
前輪が地面から浮いているとき	 点滅	ピポッ、前のタイヤが地面から離れました。タイヤを地面に下ろして、歩いてください。	前輪を地面に下ろした上で、『電源』を押して通常動作に復帰させてください。

音声案内を消すには

詳細設定モードの音量変更モードにて、第1段階(消音)に設定すると、音声案内を消すことができます。

 p.15

緊急時の対処法

❖ 重大な異常が発生したときの対処

重大な異常が発生した場合は、バッテリーパックを取り外す必要があります。

異常内容	表示部	音声	対応
故障検出時	 点滅	ピーピーピー、故障を検知しました。バッテリーを外してください。	バッテリーを取り外してください。
バッテリー残量が空になったとき	 点滅	ピポッ、バッテリーが無くなりました。バッテリーを外して安全なところへ移動してください。	
バッテリー温度に異常が発生したとき	 点滅	ピポッ、バッテリーに不具合が発生しています。バッテリーを外してください。	
エラー検出時	 点滅	ピポッ、エラーを検知しました。バッテリーを外して、入れ直してください。	バッテリーを取り外して、再度取り付けてください。

ご注意

- ・ バッテリーパックを取り外して、本機の状態を確認してください。

異常確認時のポイント

❖ 故障かな？と思ったら

本機の使用時やバッテリーパックの充電時に異常が生じたときは、下表にしたがって点検してください。それでも異常がみられるときは、使用を中止し、RT.ワークス サポートセンターにご相談ください。

症状	点検内容
電源が入らない	■ バッテリーが取り付けられていますか？ ■ バッテリー残量が不足していませんか？
発進しない	■ 電源は入っていますか？（操作パネルのバッテリー残量が点灯していますか？） ■ グリップは正しく握っていますか？（右側の手を放していませんか？） ■ 溝や段差で動かない状態になっていませんか？ ■ 駐車ブレーキがかかっていますか？
音量が小さい	■ 音量が小さいか、「消音」に設定されていませんか？
速度が出ない （アシストされない）	■ バッテリー残量が不足していませんか？ ■ アシスト設定が弱くなっていませんか？ ■ 荷物を積み過ぎていませんか？ ■ 急な上り坂ではスピードが遅くなります。異常ではありません。
速度が出ない （ブレーキがかかる）	■ グリップは正しく握っていますか？（右側の手を放していませんか？） ■ 速度設定が遅くなっていませんか？ ■ 下り坂ではブレーキがかかります。異常ではありません。 ■ 急加速するとブレーキがかかります。異常ではありません。
電源が切れる	■ 歩行中に【電源】を押していませんか？ ■ 操作しないまま5分経過すると自動で電源をオフにします。故障ではありません。
走行しなくなった	■ バッテリー残量が不足していませんか？ ■ 溝や段差で動かない状態になっていませんか？
充電できない	■ バッテリーパックおよび専用充電器の端子にゴミやホコリが入っていませんか？ ■ バッテリーパックが専用充電器に正しく挿入されていますか？ ■ 専用充電器のACアダプタが正しく挿入されていますか？

定期的に点検する

点検について

❖ 使用前の点検について

安全にご使用いただくために、下表にしたがって点検してください。異常がある場合は使用を中止し、裏表紙に記載のRT.ワークス サポートセンターまでご相談ください。

重要!!

- ・ ご使用の頻度にかかわらず、ご使用前に点検を実施してください。
- ・ 長期間使用しなかった場合でも、かならず点検を実施してください。

点検項目	内容
全 般	■ 変わった挙動や異常な音はありませんか？ ■ ボルトやナット、ネジのゆるみはありませんか？ ■ 変形・損傷はありませんか？
操作パネル	■ ボタンが正しく反応しますか？
ハンドル	■ 過度なガタやゆりみ、変形、ひび割れなどはありませんか？ ■ 手を放せば内蔵ブレーキにより確実に停止しますか？ ■ 左右旋回などの操作はスムーズに行えますか？ ■ グリップに力を入れても回ったり抜けたりしませんか？
バッテリーパック	■ 端子に汚れはありませんか？ ■ バッテリー残量は2目盛以上点灯していますか？
駐車ブレーキ	■ 駐車ブレーキが手動で動作できますか？
荷物収納カゴ	■ カゴのほつれや損傷はありませんか？ ■ フックが破損していませんか？
前輪・後輪	■ 溝が完全に見えなくなるなど、著しく磨耗していませんか？ ■ 車輪の一部のみが偏磨耗していませんか？ ■ ひび割れはありませんか？ ■ 車輪付近に異物などが付いていませんか？
ハンドル高さ調整	■ ハンドル高さが固定できますか？ ■ ハンドル高さは適切な高さに調節されていますか？ ■ 左右のハンドル高さは同じですか？
折りたたみ	■ 本機を折りたたむ、展開することはできますか？
手動ブレーキ	■ 左右のブレーキレバーの操作で、左右それぞれの後輪のブレーキがかかりますか？

ご注意

- ・ 点検するときは、かならず駐車ブレーキがかかっていることを確認してから行ってください。
- ・ 点検で取り外した付属品類は、かならず元の通りに取り付けてください。

保管場所について

故障や車体の損傷を防ぐため、直射日光や雨・露を受けない風通しの良い場所で保管してください。また、本機を長期間ご使用にならないときは、ほこりが入らないようカバーなどをかけてください。

重要!!

- ・ 長期間保管する場合も、かならず1ヶ月に1回は充電してください。バッテリーは、保管中も自己放電によってバッテリー残量が減っていきます。そのまま放置すると、バッテリー容量が回復しない場合があります、バッテリーパックの交換が必要となります。

ご注意

- ・ バッテリーパックが洪水などで水没した場合は使用せず、裏表紙に記載のRT.ワークス サポートセンターまでご相談ください。

お手入れについて

車体の汚れは、絞った濡れ布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を使って拭き取り、その後乾いた布でよく拭き取ってください。また、タイヤワックスの使用は避けてください。

- 市販のクリーニングキットは故障の原因となりますので、使用しないでください。
- 操作パネル以外の汚れは、柔らかい布に水または、中性洗剤を含ませて軽く絞ってから、拭いてください。洗剤やアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は避けてください。印刷が消えたり、色あせたりすることがあります。
- 操作パネルに水滴や汚れなどを付着したままにすると、表示面の変色やシミになったり、コーティングがはがれたりすることがあります。また、水分が内部へ侵入すると故障の原因になります。水滴などがついた場合はすぐに脱脂綿や柔らかいきれいな布（めがね拭きなど）で軽く拭き取ってください。
- バッテリーパックや専用充電器の端子部分は時々乾いた布や綿棒などで清掃してください。端子が汚れていると接触が悪くなり、充電不十分の原因となります。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

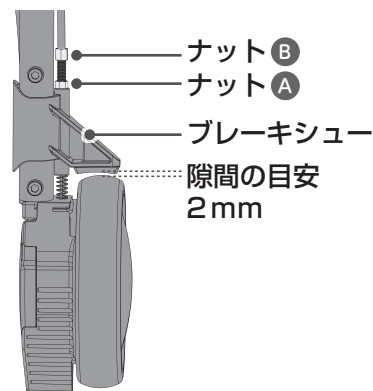
ご注意

- ・ 故障や破損につながりますので車体に水をかけたり、ガソリン・シンナー・ベンジン・ワックス等で拭いたりしないでください。

❖ ブレーキの調節方法

安全に歩行するために、定期的にブレーキの調節を行ってください。

- ① ナット **A** を反時計(左)回りに回してゆるめる
- ② ナット **B** を回して調節する
 - ◆ ナット **B** を時計(右)回りに回すとブレーキシューが後輪から離れていき、反時計(左)回りに回すとブレーキシューが後輪に近づいていきます。
 - ◆ 後輪とブレーキシューのすき間は2mmを目安に調節してください。
- ③ ナット **A** を時計(右)回りに回してしめる



仕様

製品本体

品名		ロボットアシストウォーカー RT.2	
型番		RT2-01RD / RT2-01CG	RT2-02RD / RT2-02CG
基本構造		四輪歩行器	
総重量		約9kg(バッテリーパック装着時)	
寸法	使用時寸法	長さ740 × 幅546 × 高さ735～860mm	長さ740 × 幅546 × 高さ825～950mm
	折りたたみ時寸法	長さ740 × 幅260 × 高さ735mm	長さ740 × 幅260 × 高さ825mm
	ハンドル高さ	725、750、775、800、825、850mm (6段階調節可能)	815、840、865、890、915、940mm (6段階調節可能)
	前輪	φ 194mm × 幅42mm	
	後輪	φ 150mm × 幅32mm	
環境条件	使用環境温度	0～40℃	
ユーティリティ	荷物収納カゴ	標準装備 (容積：9リットル：積載重量5kg)	
	休憩用座面	標準装備 (最大使用者体重100kg)	
アシスト機能	操作方法	ハンドルを握って押し進む	
	駆動輪	後輪独立二輪駆動	
	モード(自動切替)	坂道角度に応じたアシスト・ブレーキ	
		下り坂でのブレーキ	
速度/加速度制限によるブレーキ			
アシスト性能	実用登降坂性能	縦断勾配12% (傾斜7度)・横断勾配5% (傾斜3度)	
	速度範囲	最大6.0km /h	
	連続動作時間	4時間(標準歩行パターン*・バッテリーパック使用時)	
アシストユニット	形式	3相ブラスレスDCモータ	
	モータ定格出力	DC12V 30W×2(60W)	
制動装置	駐車ブレーキ	手動操作による後輪ブレーキ	
操作パネル	電源 入/切	ボタン	
	設定	ボタン	
	バッテリー残量	LED(緑・3段階)	
	アシスト	LED(橙)	
	ブレーキ	LED(橙)	
	速度	LED(橙)	
	スピーカー	標準装備(音声案内専用)	

※ 標準歩行パターンとは、平坦路100m→上り傾斜4度100m→平坦路100m→下り傾斜4度100mの路面を繰り返し歩行することです。

バッテリーパック/充電器

バッテリーパック	種類	リチウムイオンバッテリー
	容量	14.4V-2.5Ah
	重量	約220g
	サイクル寿命	300回
	環境条件	使用環境温度 0~40℃
充電器	形式	据え置き型
	電源	AC100V 50/60Hz
	充電時間	約3時間
	環境条件	使用環境温度 0~40℃

アクセサリ

付属品	バッテリーパック	×1
	専用充電器	×1
	ACアダプタ	×1
	取扱説明書(本書)	
	保証書	

ご注意

- 仕様および外観は、改良のため予告なく内容変更することがあります。

RT.ワークス サポートセンター



0120-959-537

受付時間

※土・日・祝およびお盆・年末年始は除く

(月～金) 9:00～17:00

※間違い電話が増えております。

電話番号をよくご確認くださいとうえでおかけいただきますようお願いいたします。

❖ ロボットアシストウォーカー RT.2 のアシスト制御設定機能

お使いになる方の体力や筋力に合わせて、アシスト制御の設定を変更することができます。

- アシスト：アシスト力の調整
- ブレーキ：下り坂でのブレーキ強さ調整
- 速度：制限速度の調整

はじめてお使いの方へ

まずはそのままの設定でお試ください。

工場出荷状態では、RT.2のアシスト制御を体感していただきやすい設定となっています。

アシスト制御をもう少し強く(弱く)したい方へ

① 簡易設定

アシスト設定、ブレーキ設定、速度設定をそれぞれ4段階で変更できます。  p.12

② 詳細自動設定

10メートル歩行していただき、その歩き方を基に自動調節した設定に変更できます。  p.14

さらに細やかに設定したい方へ

③ 詳細手動設定

アシスト設定、ブレーキ設定、速度設定をそれぞれ8段階で変更できます。  p.14

【簡易設定での初期値】

	1	2	3	4
アシスト			○	
ブレーキ			○	
速度			○	

弱/遅

強/速

【詳細設定での初期値】

	1	2	3	4	5	6	7	8
アシスト						○		
ブレーキ						○		
速度						○		

弱/遅

強/速

RT.WORKS

製造元：RT.ワークス株式会社

〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 1-10-26

<http://www.rtworks.co.jp>

* P 0 0 0 1 3 2 3 *

★★★